

***Ampex***<sup>®</sup>

# VENTURE

VB-112, VB-115, VB-210, VB-212, & VB-410  
スピーカー・キャビネット

クイックスタート・ガイド



© 2023 Yamaha Guitar Group, Inc. 無断複製禁止。

Ampeg、Ampegロゴ、Venture また SGT は、Yamaha Guitar Group, Inc.のトレードマークまたは登録商標として米国およびその他の国で登録されています。NeutrikとspeakONはNeutrik AG Corporationの登録商標です。

モデルとシリアル番号は、製品ラベルをご確認ください。以下の番号を控えておいてください。また本書は大切に保管してください。

モデル番号： \_\_\_\_\_

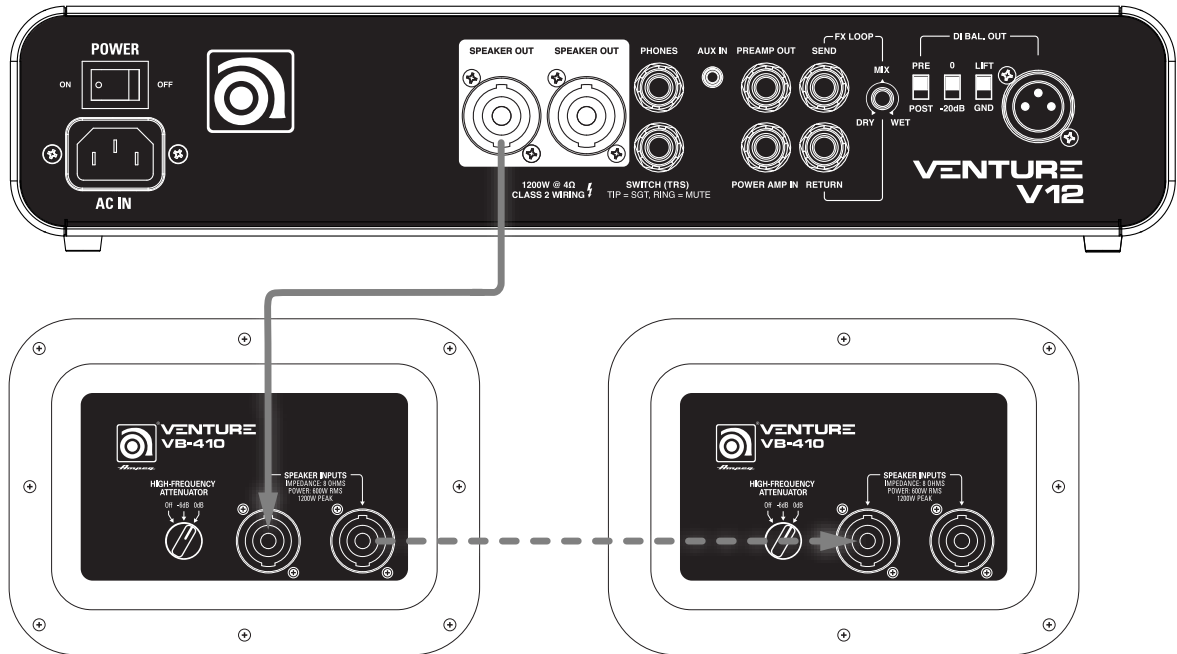
シリアル番号： \_\_\_\_\_

## 同梱品

Ampeg® Venture® VB-112, VB-115, VB-210, VB-212 または VB-410 スピーカーキャビネットとクイックスタートガイド。

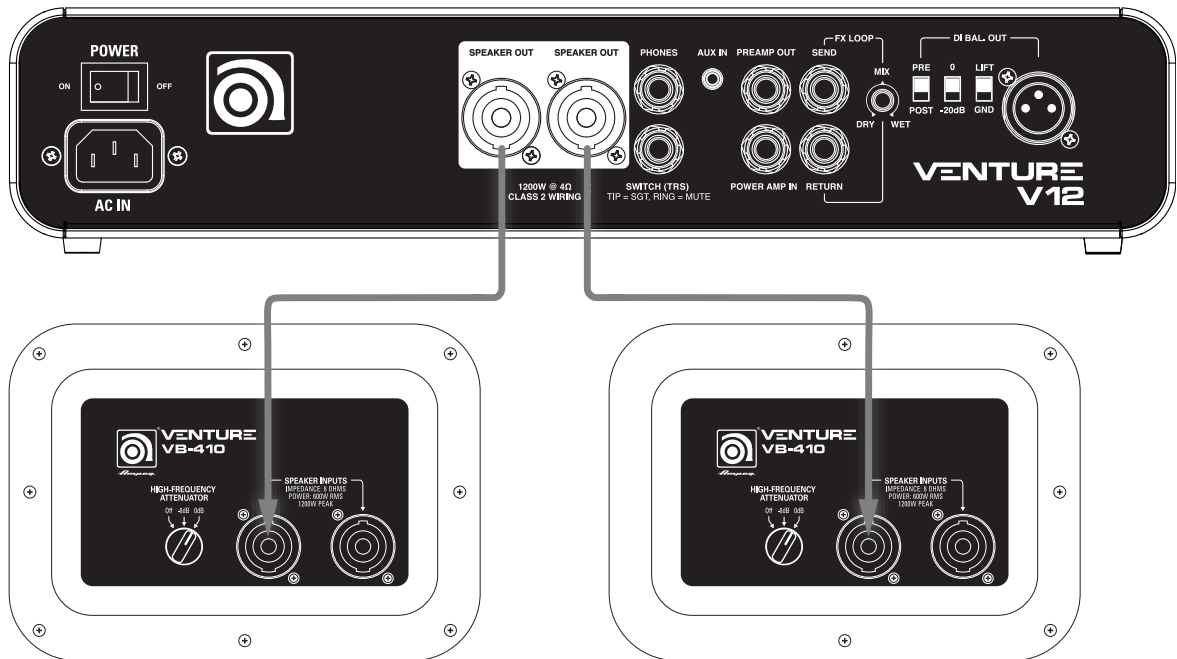
## フックアップ例

### スタンダード/デジージェンセットアップ



### パラレル接続

Venture V7 と V12 アンプには二つの SPEAKER OUT 端子があり、以下のパラレル構成が可能です。パラレル構成の場合、Venture V3 アンプでは上記のデジージェンセットアップを使用します。



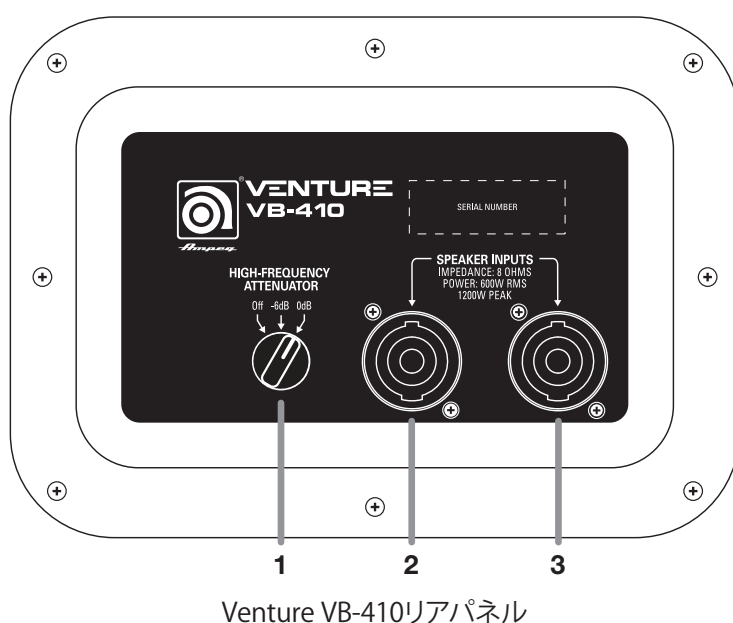
注記: 被覆なしのスピーカー・ケーブルをアンプとVentureスピーカー・キャビネットの間のすべての接続に使用します。デジージェンセットアップあるいはパラレルセットアップで1つを超えるキャビネットを使用する場合は、同じインピーダンスのキャビネットを使用します。

## 始め方

アンプとVentureスピーカー・キャビネットの使用を始める前にこれらのステップに従ってください。

1. 同梱の「安全上のご注意」を熟読してください。
2. 接続する前にアンプの電源スイッチが切れていることを確かめます。前のページの説明のとおりアンプにVentureスピーカー・キャビネットを接続します。
3. アンプのIECコネクタに含まれるラインコードを安全に挿入します。アースされたACアウトレットにラインコードを差し込みます。アンプはリヤ・パネル上で示されるような適切な電圧を受理します。
4. 楽器をアンプの入力用端子に6.3mm (被覆) 楽器ケーブルで接続します。
5. すべてのコントロールを完全にオフにした状態で、電源スイッチを「ON」にしアンプの電源を入れます。
6. 楽器を弾きながら、ボリュームノブで好みのレベルに調節します。
7. EQノブとスイッチを調整します。

## リヤパネルオプション




Venture VB-410リアパネル

## リヤパネル説明

リヤパネルの機能と以下の説明は、注意書きがない限り全てのVentureスピーカーキャビネットに適用されます。

1. **HIGH FREQUENCY ATTENUATOR:** すべてのVentureキャビネットは高周波数コンプレッションドライバーを含みます。高周波数減衰器三位置スイッチは、ドライバレベル(-6dBあるいは0dB)を調節し、またはバイパスする(Off)ことを可能にします。
2. **SPEAKER INPUTS:** Ventureキャビネットはすべて2つのNeutrik® speakOn® - 6.3mmコンビネーション端子を含んでいます。アンプとキャビネットの間では可能な限りspeakOnケーブル接続を使用することが推奨されます。安全なロック接続および優れた高電流および低ノイズが可能となります。任意で標準的な被覆のない6.3mm TS接続ケーブルも使用できます。キャビネットのSPEAKER INPUT端子にアンプのスピーカー・レベル出力を接続します。キャビネットの端子のどちらかは、追加キャビネットを接続するシングル入力あるいはスルー接続として使用できます。

2つのSPEAKER INPUT端子は平行で配線接続されています。\* 2番目のキャビネットに接続している場合、合計のスピーカー・インピーダンス・ロードが4Ωより大きなことを確認します。例えば、平行接続を使用し、2つの8Ωスピーカー・キャビネットを接続した場合、合計負荷は4Ωです。合計負荷が2Ωとなるため、2つ4Ωキャビネットを平行で接続しないでください。

 \*注記: 1つを超えるキャビネットを使用する場合、必ず適合するインピーダンス・スピーカー・キャビネットをアンプに接続してください。

さらに[ampeg.com/support/manuals/](http://ampeg.com/support/manuals/)から、Ampeg Venture V3/V7/V12アンプのクイックスタート・ガイド、あるいはVentureスピーカー・キャビネットに接続されたアンプのユーザー・ドキュメンテーションを参照してください。

## 技術仕様

	Ventureスピーカー・キャビネット				
	VB-112	VB-115	VB-210	VB-212	VB-410
パワー・ハンドリング (RMS AES)	250W	250W	300W	500W	600W
最大ワットパワー	500W	500W	600W	1000W	1200W
インピーダンス	8Ω	8Ω	8Ω	8Ω	8Ω
周波数 応答 (-3dBレンジ)	38Hz~17.4kHz	30Hz~17.4kHz	39Hz~17.4kHz	39Hz~17.4kHz	28Hz~17.4kHz
LF ドライバ	1 x 12"	1 x 15"	2 x 10"	2 x 12"	4 x 10"
HF ホーン	801/4円錐形				
感度	99dB 1W/m	99dB 1W/m	98.5dB 1W/m	101dB 1W/m	99dB 1W/m
最大SPL (2m距離)	124.2dB	127.3dB	124.3dB	131.7dB	131.5dB
入力/出力	speakOn 6.3mm コンビネーション端子				
向き	垂直または 水平	垂直	垂直または 水平	垂直または 水平	垂直
寸法 (縦 x 幅 x 奥行き)	381 x 578 x 439mm	578 x 578 x 445mm	410 x 578 x 439mm	790 x 485 x 439mm	705 x 578 x 445mm
質量	12kg	15.4kg	12.7kg	18.1kg	19kg

仕様はすべて変更される場合があります。



## 保証とサポート

[www.ampeg.com](http://www.ampeg.com)へアクセスしてください。

- (1) お客様が製品を購入した地域で受けることのできる保証内容について確認することができます。購入した際のレシートは大切に保管してください。
- (2) 購入された製品のオーナーズ・マニュアルの完全版(英語版)を取得し、印刷することも可能です。
- (3) 購入された製品を登録することができます。
- (4) テクニカルサポートへ問い合わせることができます。

### ご購入・お取扱いに関するお問い合わせ窓口

ヤマハミュージックジャパンお客様コミュニケーションセンター

ギター・ドラムご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570 - 056 - 808

上記番号でつながらない場合は053 - 533 - 5003におかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メールWebフォーム:

ヤマハ日本語HPホーム > サポート > お問い合わせ > 楽器お問い合わせ > ギター・ベース・ドラム

### 修理に関するお問い合わせ窓口

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570 - 012 - 808

上記番号でつながらない場合は053 - 460 - 4830におかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メールWebフォーム:

ヤマハ日本語HPホーム > サポート > 修理相談 > その他商品 (BODiBEAT、TENORI-ON等 電気音響商品)

### 輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

LM営業部 ギター営業推進課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03 - 5488 - 6195

[www.ampeg.com](http://www.ampeg.com)  
Yamaha Guitar Group, Inc.  
26580 Agoura Road, Calabasas, CA 91302-1921 USA  
Part No. 40-00-0595 Rev A

